

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名       |    | 公表日                                                                                                                                                  |      |     |                                                                                |                                              |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| セカンドハウスほっぷ |    | 令和7年 3月 15日                                                                                                                                          |      |     |                                                                                |                                              |
|            |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい   | いいえ | 工夫している点                                                                        | 課題や改善すべき点                                    |
| 環境・体制整備    | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 100% |     | 障がい特性に配慮した環境作りを行っている。                                                          | 人数が偏らないように、スケジュールを組み人数をわけて活動している。            |
|            | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 100% |     | 集団活動や個別活動に分けたりして活動を行っています。配慮が必要な利用者様には、1：1の対応をしています。                           | 基準人数は満たしているが、送迎や支援の質を考えると余剰人数がもう少し増えて欲しい     |
|            | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 100% |     | バーションを活用したり、何をする場所なのか視覚的にわかりやすくしています。また、個人のスケジュールがあり、確認しながら安心して活動できるように努めています。 |                                              |
|            | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 100% |     | 定期的な掃除、消毒を行っている。動と静の空間は確保されており、居心地が良い空間になるように努めています。                           |                                              |
|            | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 100% |     | 疲れた時、休みたい時には休憩室できる部屋がある。                                                       |                                              |
| 業務改善       | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 100% |     | 都度職員間で話し合いを行っている。                                                              |                                              |
|            | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 100% |     | 支援会議等で保護者様の意見を共有し、改善に向けて話し合いを行っている。                                            |                                              |
|            | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 100% |     | 支援会議等に議題にあげ業務改善できるようにしています                                                     |                                              |
|            | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 57%  | 43% |                                                                                | 現場のスーパーバイズ等は行われているが第三者による評価については現場レベルではわからない |
|            | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                     | 100% |     | 法人研修や職員会議などで研修が開催され、支援向上に努めている                                                 |                                              |
| 適切な支援の提    | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 100% |     |                                                                                | 公表については、年度内の公表に向けて進めている                      |
|            | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 100% |     | 利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成している                                                    |                                              |
|            | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 100% |     | 支援会議や振り返りの中で、共通理解を図り本人が達成感や成功体験ができる                                            |                                              |
|            | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 100% |     |                                                                                |                                              |
|            | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 100% |     |                                                                                |                                              |
|            | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% |     | 本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成している                                                   |                                              |
|            | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 100% |     | 職員のアイデアや利用者様が楽しめる活動を取り入れ準備等も分担しながらチームで行っている。                                   |                                              |
|            | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                             | 100% |     |                                                                                | スケジュール自体に固定されないようにしているが、活動の幅を広くして行かないといけない   |

|              |    |                                                                                    |      |     |                                                   |                                            |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|---------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 100% |     |                                                   |                                            |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 100% |     |                                                   | 支援前に本日の支援内容、注意点、変更点など打ち合わせを行っている。          |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 57%  | 43% |                                                   | 送迎や非常勤の退勤時間と重なってしまうため、翌日や支援会議にて振り返りを行っている。 |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 100% |     |                                                   |                                            |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 100% |     | 学校や他事業所での様子を共有しながら適切な見直しを行っている                    |                                            |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 100% |     |                                                   |                                            |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 100% |     | スケジュールの中に「選べる活動」があり、好きな活動を自己選択・自己決定できるように組み込んでいる。 |                                            |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 100% |     |                                                   |                                            |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 100% |     |                                                   |                                            |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 100% |     | 行事予定や下校時刻等は、保護者様と情報を共有している。必要に応じて、学校とも確認をしている。    |                                            |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 86%  | 14% |                                                   | 小学部との情報共有を行っている。                           |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 100% |     |                                                   | 移行支援会議への出席は必ずではないが、必要に応じて行っている             |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 100% |     | 啓発講演会や法人内研修を行っている                                 |                                            |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             | 43%  | 57% |                                                   | 今後必要があれば検討していく。                            |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            | 71%  | 29% |                                                   |                                            |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 100% |     | 送迎時や、お迎え時に活動の様子をお伝えし情報共有を行っている。                   |                                            |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 100% |     | 保護者学習会を開催している。                                    |                                            |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 100% |     | 契約時に運営規定や利用者負担について説明を行い、質問等があればその場で答えている。         |                                            |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% |     | 契約時に本人や保護者のニーズを伺い、それに基づいた支援を考えています                |                                            |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 100% |     | 保護者様からの同意を頂いた上で、署名を頂き写しをお渡しして後日質問等があればお答えしています。   |                                            |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 100% |     | 随時、相談は受け付けており必要な支援ツールや視覚的に役立つ案、支援方法を提案しています。      |                                            |

|          |    |                                                                                            |      |     |                                         |  |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----------------------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 100% |     | 保護者学習会を定期的に開催し保護者様同士の交流の場としている          |  |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 100% |     | 契約時に、苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるように努めています。 |  |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 100% |     | 年4回、会報を発行している                           |  |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 100% |     | 個人情報が記載されている書類等は鍵付き棚に保管している。            |  |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 100% |     | 本人が理解できる視覚支援を行い情報の伝達を行っています。            |  |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 100% |     | 年1回、ウォークラリーを開催している。                     |  |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 100% |     | 定期的に研修会を開き、会報等でお知らせしている。                |  |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 86%  | 14% | 年4回の避難訓練と不審者対応訓練を行っている                  |  |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 100% |     | 服薬や、てんかんを持つ保護者様から情報を共有し確認している。          |  |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 86%  | 14% | アレルギーがある利用者様に関しては、職員間で共有、注意している         |  |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 100% |     | 研修や訓練を行っている。                            |  |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 100% |     | 非常時の対応について、説明を行っている。                    |  |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 100% |     | ヒヤリハットを作成した際には、原因、予防策等を職員間で情報共有している     |  |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 100% |     | 支援会議等で職員だけでなく、支援員まで研修を受ける機会を設けている       |  |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 100% |     | 契約時に説明し、重要事項説明書にもやむを得ない場合の定義について記載している。 |  |